

中日春秋に「さくら散り梅はこぼれて つばき落つ ぼたん崩れて 舞うきくの花」と、一首載っています。明治天皇の御製訓に「あつまると見れば離るる大空の雲にも似たるひと心かな」と、別れては又、くつつくか立憲民主党。数年でコロコロ変わるようでは、落ち着きもなく、一貫した政策もないのかと思われます。自由民主党総裁選挙が行われ、しっかりと日本を支える人物に第九十九代首相菅義偉氏が決まりました。佛心と言つても、目をつぶれとは言いません。我々国民が徒然草にあるように「存命の喜び日々を楽しませらんや」コロナで財施が逼迫しても寄付する議員も出てこない。身を切るつもりはないらしい。借金政治に身を任して大丈夫かと思えます。若者が借金地獄の日本を背負う事に成ります。コロナで、多くの方が家を失くし、職を失っているのに、情けない事です。国運を担う国会議員なれば半額の寄付は当たり前と思つています。拾遺和歌集の中に「世の中をかく言ひゝの果てゝはいかにやいかにならむとすらん」と詠まれた一句あり。「口に蜜あり腹に剣あり」では困ります。責任をとるのが人間としての務めです。後は野となれ山となれでは困つたものです。四国霊場六番札所安楽寺さん発行の「無罪の七施」があります。内容は「和顔施（笑顔は最良の贈り物である）」「和言施（おだやかな言葉をつかきましょう）」「滋眼施（おもいやりのあるまなざしを心がけよう）」「床座施（場所、座席を譲り合ひましょう）」「房施（一輪の花を生ける等、住居を清潔にして、人を迎えましょう）」「力施（人に力をかけてあげましょう）」「心施（人の喜びを共に喜ぶ心をもちましょう）」と、有言実行と行きましよう。佛道の初めに、心身の鍛錬は一掃除とあり、「淨穢不二」と申しまして、他人の糞尿で汚れた公衆トイレの掃除をすることも修行の一つです。泥の中からきれいに咲く蓮花が極楽の花として崇められる所以です。汚いからきれいに変える事が出来る人には天地の恵みが頂けるでしょう。

我々の行動は社会生活を営む一員として、如何に人と人の関係において、信頼関係を築く事が出来るかと言うことです。キャリアウーマンとて一人では子育てはおろか、ご馳走さまと言える食事を作ることさえ難しいのです。色々な方の世話に成るのです。世の中「一期一会」の御縁があくまで基本です。伸びていくには、信頼関係の構築が人を大きくしていきます。会社で考えてみますと、段々部下が増え、トップは社長とされるのです。人生街道、人間としての絆の深まりが、人が起こす災いや、或は自然が起こす災いに、水もない、火もない、電気・ガスもダメ、食べる物もない、金もない、と、一旦緩急あらば、右往左往するばかり、行政任せで乗り切れません。災難に遭遇すれば日頃の身心の深さは分かりませんが、神も仏も無い、と思われる方も見えるでしょう。世の中、先の読める人は皆無です。深い絆で結ばれていれば、こんな事態に遭遇しても、手を差し伸べて頂けると思います。

たかたかしさんの詩に「山が動く 風が変わる 遙か大地に 今日が昇る 行け 男よ 人生 一炊の夢なれど つよくやさしく ひたむきにおのれの道を 駆けて行け」と、星野哲郎さんの詩に「枝をはるのはまだ早い いまはしつかり 根をのばせ 大器晩成 あしたにかける 夢と希望の 大空を 雲が流れる 悠々と」、「天・地・人」全てに、良き御縁を頂きましょう。